

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の
基準日 (1) 期末配当金 3月31日
(2) 中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 (〒541-8502)
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第二部

公告方法 電子公告により行います。

<http://www.resibon.co.jp/>

やむを得ない事由により、電子公告によることができないときは日本経済新聞に掲載する方法により行います。

*当社の貸借対照表、損益計算書は、EDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内

- 権利確定日 毎年3月31日
- 優待内容
 - 100株以上1,000株未満
500円のクオカード。報告書に同封してご送付いたします。
 - 1,000株以上
4,500円相当の雑貨・食品約600点から選べるカタログギフト券。
(カタログ代、送料を含む金額)
毎年7月上旬にカタログをご送付いたします。

ホームページのご案内

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、業績報告や会社情報などさまざまな情報をご案内しております。

<http://www.resibon.co.jp/>



トップページ



IRライブラリー



第55期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第55期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の中間報告書をお届けし、事業の概況等をご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては1株当たり6円（前中間配当金6円）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 今立 康一

事業の概況

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災の影響や米国欧州の財政不安、金融危機による世界的な景気の停滞と急激な円高等により先行き不透明の状況が続いております。

このような状況の中で、国内砥石製造・販売事業では、インドネシア向け等、砥石輸出が堅調に推移し、また、国内市場において震災後の復旧活動などの需要増加が窺われ第1四半期に比べ業容が拡大いたしました。

海外砥石製造・販売事業は、南米、中近東、オセアニア、北米、アジアで高い伸び率が見られ、世界的に砥石需要が増加する中で受注は活況を呈し、供給能力が追い付かず生産拡大投資に注力してまいりました。

製品商品販売事業は、震災の復旧需要などの高まりにより、砥石・機械工具・消耗品とも需要が拡大いたしました。しかしながら、利益面では若干の赤字計上

を余儀なくされました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は6,945百万円となり、前年同期比465百万円（7.2%）増収となりました。

売上原価は、設備償却負担や大径切断砥石の生産比率の拡大に伴い材料費負担比率等が増加したこと、また、売上面でドルに対するパーツ高の影響等により原価率は前年同期比2.0ポイント悪化いたしました。

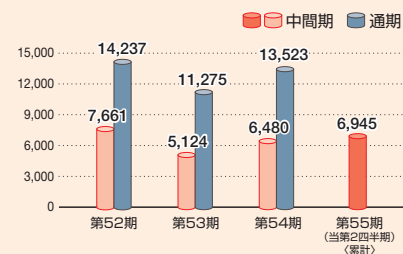
その結果、連結営業利益は376百万円となり、前年同期比54百万円（12.6%）減益となりました。

連結経常利益は、仕入割引や為替差益が増加し381百万円となり、前年同期比36百万円（8.7%）の減益となりました。

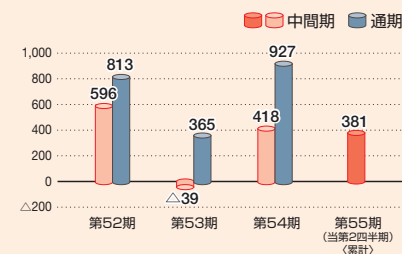
連結四半期純利益は213百万円となり、前年同期比8百万円（4.3%）の増益となりました。

財務ハイライト

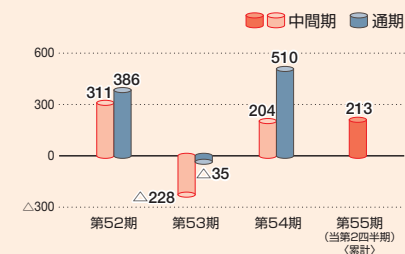
売上高 (百万円)



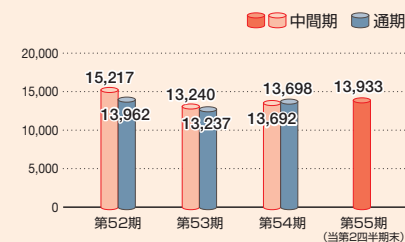
経常利益 (百万円)



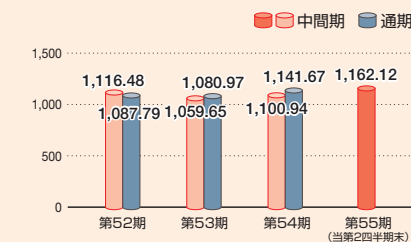
四半期(中間・当期)純利益 (百万円)



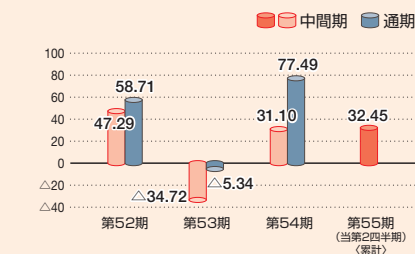
総資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



1株当たり四半期(中間・当期)純利益 (円)



連結財務諸表（要約）

四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日	前期末 平成23年3月31日
【資産の部】		
流動資産	6,737,766	6,512,851
固定資産	7,195,480	7,185,593
有形固定資産	6,389,639	6,403,745
無形固定資産	354,453	340,753
投資その他の資産	451,386	441,093
資産合計	13,933,246	13,698,444
【負債の部】		
流動負債	4,061,665	3,962,441
固定負債	1,503,413	1,531,555
負債合計	5,565,079	5,493,997
【純資産の部】		
株主資本	7,834,985	7,660,867
資本金	1,128,200	1,128,200
資本剰余金	908,565	908,565
利益剰余金	5,808,611	5,634,451
自己株式	△10,392	△10,349
その他の包括利益累計額	△183,826	△144,281
その他有価証券評価差額金	7,607	14,781
為替換算調整勘定	△191,434	△159,062
少数株主持分	717,008	687,861
純資産合計	8,368,167	8,204,447
負債及び純資産合計	13,933,246	13,698,444

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	6,945,686	6,480,373
売上原価	5,273,855	4,791,530
売上総利益	1,671,830	1,688,842
販売費及び一般管理費	1,294,932	1,257,483
営業利益	376,898	431,359
営業外収益	35,878	17,144
営業外費用	30,952	30,091
経常利益	381,825	418,411
特別利益	138	—
特別損失	5,034	8,102
税金等調整前四半期純利益	376,929	410,309
法人税、住民税及び事業税	131,382	168,938
法人税等調整額	△18,845	△37,081
少数株主損益調整前四半期純利益	264,391	278,452
少数株主利益	50,727	73,675
四半期純利益	213,664	204,777

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	306,888	404,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,663	△169,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	82,135	△229,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△781	△1,077
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	94,578	4,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,206,506	1,497,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,301,085	1,501,996

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表（要約）

四半期貸借対照表

（単位：千円）

科目	当第2四半期末 平成23年9月30日	前期末 平成23年3月31日
【資産の部】		
流動資産	3,548,546	3,651,058
固定資産	5,588,437	5,608,523
有形固定資産	4,399,507	4,447,005
無形固定資産	254,808	233,749
投資その他の資産	934,120	927,767
資産合計	9,136,983	9,259,581
【負債の部】		
流動負債	1,562,501	1,830,008
固定負債	853,200	792,084
負債合計	2,415,702	2,622,092
【純資産の部】		
株主資本	6,715,482	6,624,567
資本金	1,128,200	1,128,200
資本剰余金	908,565	908,565
利益剰余金	4,689,108	4,598,151
自己株式	△10,392	△10,349
評価・換算差額等	5,799	12,921
純資産合計	6,721,281	6,637,488
負債及び純資産合計	9,136,983	9,259,581

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期損益計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	3,672,301	3,566,277
売上原価	2,853,698	2,757,339
売上総利益	818,603	808,938
販売費及び一般管理費	605,573	586,929
営業利益	213,029	222,009
営業外収益	35,318	34,139
営業外費用	20,814	20,684
経常利益	227,533	235,464
特別損失	4,664	3,979
税引前四半期純利益	222,869	231,484
法人税、住民税及び事業税	112,764	122,655
法人税等調整額	△20,356	△37,276
四半期純利益	130,460	146,106

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第4回 業容拡大、さらなる挑戦（昭和60年～平成元年）

社名を現在の「日本レヂボン(株)」に変更したこの時期、タイに進出して砥石の生産の基盤をさらに強固にし、着実に業容を拡大させていきました。また、砥石の専業メーカーとして初めての上場を果たしました。（「日本レヂボン50年史」より）

社名の変更

昭和60年4月1日、社名を従来の「日本レヂボン製砥(株)」から「日本レヂボン(株)」に変更した。この背景としては、レヂボンでは創業以来、砥石専業メーカーとして業界屈指の地位を築いてきたが、益々スピード化する技術革新や価値観が多様化する時代にあって、そのニーズ、シーズを統合した企業体を再構築する時代と考えたからである。

ガラスクロス製造開始

研磨資材工業(株)（現：コンポジット事業部）がガラスクロス織機5機を導入し、ガラスクロスの本格製造販売を昭和61年3月より開始した。また砥石用成形金型および砥石製造装置の製造も開始した。

ダイヤレヂボン(タイランド)の設立

東南アジア市場をはじめ、海外市場向けの拡販強化の為に、海外における生産拠点を作る必要があるとの判断から、昭和62年12月18日に三菱商事(株)との合弁会社DIA RESIBON (THAILAND) CO., LTD. を設立した。スタート時点は、敷地面積2,500坪、建屋は一部2階建てで1,000坪、従業員38名で、日本人は社長と工場長の2名のみである。主生産品目はオフセット砥石、スキルタッチ、切断砥石、フラップジスクである。



オープニングセレモニー時のナワナコン工場

株式上場

永年の夢でもあった当社の株式が昭和63年11月17日に承認され、同月24日、大阪証券取引所市場第二部特別指定銘柄に上場された。全社一丸となって取り組んだ結果ではあるが、取引先の皆様の協力があったからこそ実現できたものである。



大阪証券取引所株価ボード前にて

日本レヂボンと当時の社会の動き

昭和60年 4月	社名を日本レヂボン製砥(株)から日本レヂボン(株)に変更
6月	デュアルディスクの製造販売を開始
10月	(株)レヂボン吸収合併
昭和61年 3月	ガラスクロス製造開始
4月	ソ連、チェルノブイリ原子力発電事故
昭和62年 12月	ダイヤレヂボン(タイランド)設立
昭和63年 3月	青函トンネル開業
4月	瀬戸大橋開通
11月	大阪証券取引所市場第二部上場
平成元年 1月	「平成」に改元

赤字 当社のできごと 黒字 社会のできごと

株式の状況 / 会社情報 (平成23年9月30日現在)

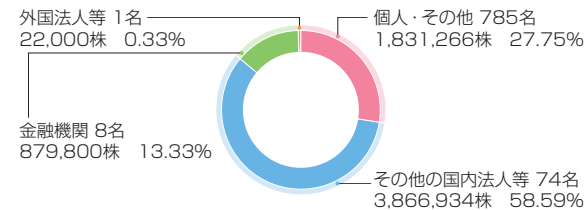
発行可能株式総数	19,200,000 株
発行済株式の総数	6,600,000 株
株主数	868 名

大株主（上位10名）

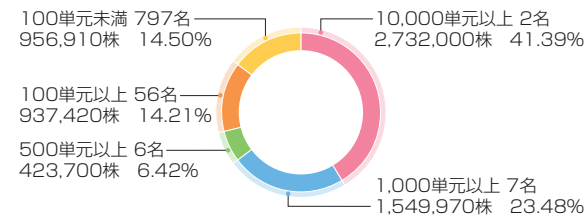
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ノリタケカンパニーリミテド	1,412,000	21.45
三菱商事株式会社	1,320,000	20.05
群栄化学工業株式会社	422,000	6.41
株式会社三菱東京UFJ銀行	297,000	4.51
日本生命保険相互会社	238,000	3.61
株式会社TKX	180,000	2.73
レヂボン従業員持株会	160,370	2.44
株式会社近畿大阪銀行	148,000	2.25
今立康一	104,600	1.59
明治安田生命保険相互会社	83,000	1.26

(注)持株比率は自己株式(16,210株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



会社概要

商号	日本レヂボン株式会社
設立	昭和33年(1958年)2月4日
資本金	11億2,820万円
従業員数	281名
主要な事業内容	研削砥石、プリプレグ製品の製造・販売及びこれらに関連する商品の仕入・販売
本社	〒550-0014 大阪市西区北堀江1丁目22番10号
営業拠点	東京(東京都大田区) 名古屋(名古屋市中川区) 福岡(福岡市博多区)
工場	古川(岐阜県飛騨市) 寺林(岐阜県飛騨市)
グループ会社	株式会社菱和(大阪市西区) DIA RESIBON(THAILAND)CO.,LTD.(タイ)

役員

代表取締役社長	今立康一
専務取締役	浜田和好
専務取締役	洞口健一
常務取締役	古田龍
取締役	杉浦幹夫
取締役	村杉広行
取締役(社外取締役)	赤羽昇
取締役(社外取締役)	森川芳行
常勤監査役	入江正治
常勤監査役	中川晴夫
監査役(社外監査役)	有田喜一郎
監査役(社外監査役)	甲谷隆和
監査役(社外監査役)	鳥居真吾